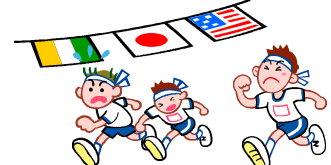


# チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
 ☆「かしく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ 団が お かが や き 団んばる 学校 困う えんだん 「チーム北川」～

## 努力のたし算 協力のかけ算!



運動会は、学校の体育学習の成果や体力、そして行動面の成長を保護者や地域の方々に発表する学校で最大の行事と言えます。子どもたちや教職員が一体となり、運動会の成功というゴールを目指して練習する中で、様々な課題を乗り越えながら共に成長していくものです。

子どもたち自身にとっても、学級集団にとっても、よりよい運動会を創り上げるために多くの困難が待ち受けています。その困難を一つ一つ乗り越えていくことで、子どもたちは体力や運動の技能はもちろんのこと、友達とつながる力（人間関係力）や自分の弱さに負けない心と力（忍耐力）を少しずつ身に付けていきます。このことが最も大切なこと、学校教育そのものです。



また、保護者の皆さんにとっては、困難に立ち向かう子どもたちの思いを受け止め、助言を与えたり、励ましたり、一緒に悩んだりすることを通して、家族の絆を深めるとともに家庭の教育力を高めることにつながるのではないのでしょうか。



こうしたことを踏まえて、学校としては運動会の準備や練習から本番まで、次のことを大切に指導しています。

- ◇友達と協力し合いながら、集団として取り組むことのすばらしさ
- ◇知恵を出し合いよりよいものを創り上げる楽しさ
- ◇自分自身の体力や気力を思い切り発揮することの気持ちよさ
- ◇友達とつながり困難を克服し、みんなで味わう達成感や充実感
- ◇見通しをもって計画的に取り組むことの大切さ

子ども自身が努力し、それを一つ一つ着実に積み上げていくこと、みんなで協力し一人の力を集団としての大きな力に変えていくことのすばらしさをしっかりと学んでほしいと願っています。それが、「努力」のたし算と、「協力」のかけ算です。今日の全体練習の子どもたちの姿からも、それらが伝わってきました。たとえ、上手にできなくても、失敗しても、その子なりに、あきらめずに不安や困難とたたかいながらがんばっています。成功したときには、友達と一緒に「やったあ！」と歓声をあげています。

そんな子どもたちにとって、運動会がすばらしい学びの場となるよう、私たち教職員も体育主任を中心にチーム北川全員でがんばっています。11日は、教職員で協力して運動場にラインを引いたり、入退場門を設置したりしました。保護者の皆さんにも学校としての考えをご理解いただき、困難を乗り越えるお子さんの姿を見守り、ときには励まし、感動を共有していただきたいと思います。子どもと教職員と保護者が同じゴールに向かって協力し、運動会本番で感動を共有することができたらどんなにすばらしいことでしょうか。きっとそのときは、子どもだけでなく、私たちも成長しているはずです。